

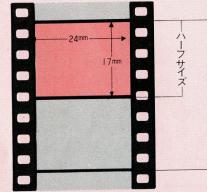
コニカレコーダーDP



使用説明書

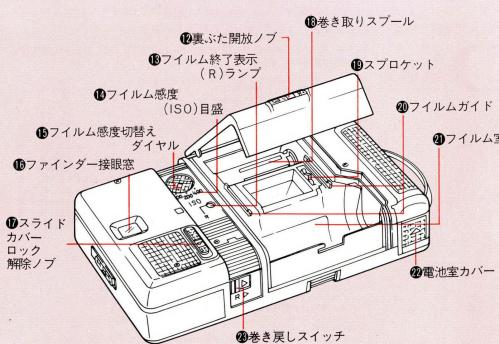
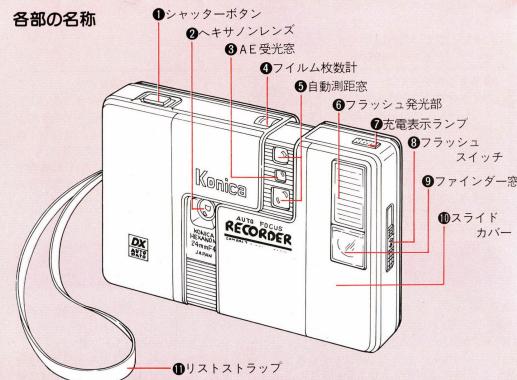
Konica RECORDER DP

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの使用説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

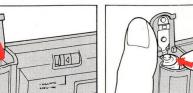
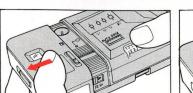


画面サイズ

各部の名称



スライドカバーの引出し



1. まず電池を入れてください 電池を入れないとカメラは作動しません。

このカメラは使用しないときは、スライドカバー⑩を閉じておき、撮影のときは引出します。スライドカバーを閉じると、①シャッターボタンにさわってもシャッターが起きません。(安全機構)
②レンズ、自動測距窓、受光窓など、カメラの重要な部分を保護します。(ケースレスタイプ)
③フラッシュスイッチがONになっていたら、自動的にスイッチOFFになります。(安全機能)

1) 電池室カバー②を矢印方向に引いて、

2) 電池室内の図に合わせて電池を入れます。
※電池を入れる前に巻き戻しスイッチ⑪のOFFを確認してください。

3) 電池室内の図に合わせて電池を入れます。
※電池を入れる前に巻き戻しスイッチ⑪のOFFを確認してください。

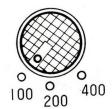
4) 2本目の電池は⑦を上にしても入れ、電池室カバーを閉じて押しちみます。
※電池を入れたとき、まれに巻き上げが作動する場合があります。

5) スライドカバー⑩を引出してシャッターボタン①を押し、シャッター音と巻き上げの音がしたら、電池の入れ方はOKです。
※電池の⑨をまちがえて入れるとカメラは作動しません。
※カメラを2週間以上使わないときは、カメラから電池を取出しておきましょう。

電池交換の時期
●スライドカバー⑩を引出してフラッシュスイッチ⑪を押しつけて、充電表示ランプ⑦が数秒で点灯したら、電池はOKです。点灯まで30秒以上かかるようになったら、同一銘柄の新しい電池を2枚同時に取替えてください。

●常温20℃、新品の乾電池で24枚撮りを使用した場合、フラッシュを使わないとき: マンガ電池: 電池: 約40枚(1000コマ)
アルカリ電池: 約40枚(500コマ)
全部フラッシュを発光させたとき: マンガ電池: 約2本(100コマ)
アルカリ電池: 約5本(250コマ)

2. フィルム感度を合わせてください



被写体の明るさによって感度の合うフィルムを使い分けると広範囲の撮影ができます。サクラカラーには普通感度のSR100、高感度のSR200、超高感度のSR400が用意されています。

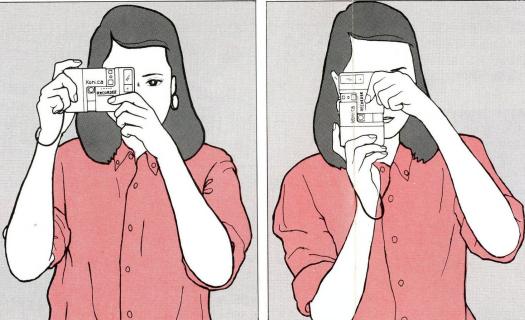
暗い被写体は内蔵のフラッシュで明るくきれいに写れます。また撮影の日付、時刻を写し込めるオートデータ機能をそなえています。

- ①電池を入れる
- ②フィルム感度を合わせる(DXコードフィルムでは不要)
- ③フィルムを入れる
- ④フィルムアダプターのぞいて撮影
- ⑤シャッターボタンを軽く押したとき赤ランプが点灯したらフラッシュ撮影
- ⑥写し終ったらフィルムを巻き戻す

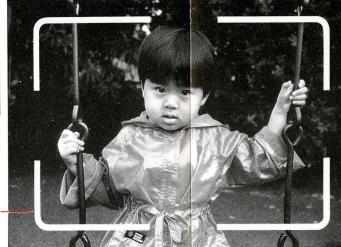
4. 正しい構え方をおぼえましょう

カメラがぶれないように注意しましょう。

- 1) カメラを両手でしっかりと持つてじを軽くしめ、カメラの背面を顔の一部に当ててファインダーをのぞくのがコツです。
- 2) タテ位置でフラッシュ撮影をするときは、かならずフラッシュ発光部⑥が上になるように構えさせてください。
※リストストラップ⑪を手首にとおしておとくと安全です。

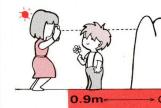


※指や髪の毛などでレンズ②や自動測距窓⑤、AE受光窓⑥などをささえぎらないように気をつけましょう。



1) スライドカバー⑩を引出し、ファインダー接眼窓⑨をまっすぐのぞいて構図を決めてください。撮影範囲はフレームの内側が写ります。

※2m以内の近距離では、被写体をファインダーの中央に入れてください。



ピントの合う範囲

- 2) シャッターボタン①を静かに押しつけ、シャッターをきります。撮影が終るとフィルムが自動的に1コマ分送られます。
- ③シャッターボタンを押したとき、ごくまれに電池の汚れなどのためフィルム終了表示ランプ⑪やファインダー内赤ランプが点灯したままになることがあります。このときは電池を清掃してください。

6. 暗いところはフラッシュ撮影で…

- 1) フラッシュ撮影の距離
フラッシュ撮影ではカメラから被写体までの距離を0.9m～4.5mで写してください。
- 2) フラッシュは日中撮影時の補助光としても使用できます。(裏面参照)



シャッターボタン①を半押ししたとき、ファインダー内左上に赤ランプが点灯したら、被写体が暗すぎるのフラッシュ撮影に切り替えてください。

- 1) フラッシュスイッチ⑧を点灯まで数秒待ってシャッターボタン①を押し撮影します。撮影が終ったらフラッシュスイッチ⑧を押しつけOFFにします。
- ※充電表示ランプ⑦が点滅する前にシャッターボタンを押すと、充電表示ランプ⑦が点灯しませんからご注意ください。

- 1) 所定の枚数を写し終わら、フィルムが最後まで巻き上げられるまで、充電表示ランプ⑦が点滅します。
- 2) 充電表示ランプ⑦が点滅したとき、シャッターボタン①を押すと、シャッターはされなくなります。

- 1) ここですぐに巻き戻しスイッチ⑪を矢印方向に引くと、自動巻き戻しが始まります。
- ※巻き戻し開始と同時にフィルム終了表示(R)ランプ⑪の点滅は消えます。
- ※赤ランプが点滅したまま放置すると電池の消耗を早めます。

- 1) ふたを開けたとき、フィルムを引いて裏ふたを開け、フィルムを取出してください。
- 2) ふたを開けたとき、シャッターボタン①を静かに押しつけ、シャッターをきります。撮影が終るとフィルムが自動的に1コマ分送られます。
- 3) ふたを開けたとき、巻き戻しスイッチ⑪を矢印方向に引いて巻き戻し完了です。
- 4) ふたを開けたとき、巻き戻しスイッチ⑪を矢印方向に引いて巻き戻し完了です。

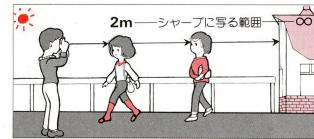
測距についてのご注意
下記のような被写体は、2m以内で写すとき、まれにピントが合わない場合があります。
①黒やグレーの反射しにくいものの毛など。
②光沢のあるもの(車のボディなど)。
③カラーリングの被写体で、カラーライムを入れると、フィルム枚数計④の赤マークが移動します。
●フィルムはリーフ部と終りの部分に、長さの余裕がありますので、規定枚数以上の撮影ができます。その目安は、
・1枚撮りで、24-約28枚
・2枚撮りで、48-約52枚
・3枚撮りで、72-約76枚の撮影ができます。

7. 写し終ったらフィルムを巻き戻してください 巻き戻しも自動です。

※写し終ったフィルムは、なるべくお早目にカメラ店にお持ちになり、「サクララーブリット」とご記入ください。美しい仕上がりが約束されます。

コニカレコーダーの特長を生かした撮影

晴天の屋外では、約2m以上離れて撮れば近い人物も遠い風景もすべてシャープに写ります。



このカメラの自動測距はファインダー中央部でおこないますが、晴天日中の屋外では、約2m以上離れて撮れば近いものも遠いものもシャープに写ります。

夕方や夜のスナップには超高感度フィルムが有効です。



一般撮影には、感度ISO100のサクラカラーSR100またはISO200のサクラカラーSR200が使われますが、夕方や夜のスナップ、室内の自然光撮影などの暗い被写体に対しては超

日陰や室内窓ぎわの人物はフラッシュ撮影で……



フラッシュ撮影

くもりや雨の日の人物にもフラッシュ撮影が効果的です。



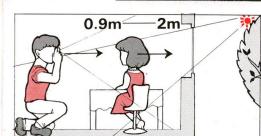
フラッシュ撮影



フラッシュなし



フラッシュなし



フラッシュなし

くもりや雨の日の光の見えがありません。ファインダー内の赤ランプが点灯するほどに暗くなても、フラッシュ撮影をする人と人物が明るくきれいに写ります。このときは1.5~4.5mの距離で写してください。

※0.9~2mに近づいて写すときは、被写体の人物を画面の中央に入れるようにファインダーをのぞいてください。

夕方や夜のスナップには超高感度フィルムが有効です。

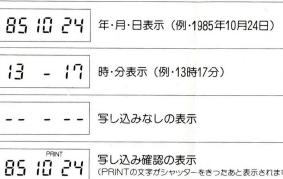
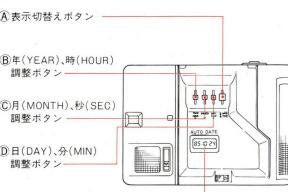
高感度ISO400のサクラカラーSR400をお使いになることをおすすめします。フィルムの感度をアップすることによって、暗いに対して余裕のある撮影ができ、暗いなかでの雰囲気の

ある描写をねらうことも可能です。コニカレコーダーのオートフォーカスは、暗い被写体も正しく測距する方式ですから安心してご使用になれます。

オートデータの使い方

記念写真や記録写真では、撮影した日付や時刻がアルバム整理などに役立ちます。

このカメラは2019年1月31日までの日付を記憶し、フィルム画面に写し込むオートデータカメラです。内蔵のオーツデジタル回路によって、大月、小月、うるう年まで記憶していますから、撮影のたびにデータをセットする必要はありません、年月日も時分も完全に自動化されています。



〈日付・時刻の調整

日付・時刻は出向の際調整されていませんから、改めて調節し直す必要がありますが、海外旅行などで時差の調整が必要なときには、次のように調整してください。

*海外旅行で年・月・日を現地の日付に合わせたときは、時・分も同時に現地時刻に合わせてください。

〈年・月・日の調整

表示窓に年・月・日を出し、年調整ボタン⑤、月調整ボタン⑥、日調整ボタン⑦、それを押して調整します。調整の仕方は年・月・日の場合と同様です。

〈時・分〉の調整

表示窓に時・分を出し、時調整ボタン⑧、分調整ボタン⑨をそれぞれ押して調整します。調整の仕方は年・月・日の場合と同様です。

〈秒〉まで合わせたい場合

秒調整ボタン⑩をテレビ、ラジオの時報に合わせて押します。(例)19時00分の場合、前半30秒間は19時0分0秒ジャストに、後半30秒間に19時0分0秒ジャストに合わせます。

撮影について

おみやげ位置のバックの色が白いときが明るいときは、日付や時刻の数字が読みにくくなることがありますのでご注意ください。

電池交換の時期

オートデータ用電池は出荷時にセッティングされていますが、カメラの裏ふた内部には、オートデータ用電池のお

およその交換時期を示すラベルが貼ってあります。この時期を過ぎると、撮影した写真の日付や時刻の数字がうすくなったり、見えなくなることがありますから、お早目に交換してください。

液晶について

表示窓に写し込み部には液晶素子を使用していますが、液晶はその性質上、通常の使用状態で約5~6年経過しますとコントラストが低下し、映みにくくなったり、くすくなったりします。この場合は液晶素子の交換になります。この場合は液晶素子の交換をご用意ください。(有料)

寒いところでは

オートデータ用のリチウム電池は、-10℃以下の寒いところ長時間放置すると、電池性能が低下してデータ機器が正常に働かなくなることがあります。カメラを保温しながらご使用ください。

静電気・磁気にご注意

データ写し込み機構にはクオーツデジタル時計とまったく同じものが内蔵されておりますので、テレビ・磁石等、静電気、磁気を発生する器具に接触せなさいください。

電池交換の時期

表示の切替え

表示切替えボタンⒶは、押すたびに次のように表示が変わり、3つのモードが循環しています。

年・月・日表示
時・分表示
写し込みなし

希望のモードで撮影してください。
※時と分の中間にハイフンは、写し込まれない場合もあります。
※年・月・日と時・分を同時に写し込むことはできません。

写し込み確認の表示
(PRINTの文字がシャッターをきったあと表示されます)

日付・時刻表示窓

表示切替えボタンⒶには、年・月・日または時・分の液晶文字が見えます。撮影と同時にこれと同じ数字がフィルム画面の図の位置に写し込まれます。



写し込み位置

液晶について

表示窓に写し込み部には液晶素子を使用していますが、液晶はその性質上、通常の使用状態で約5~6年経過しますとコントラストが低下し、映みにくくなったり、くすくなったりします。この場合は液晶素子の交換をご用意ください。(有料)

寒いところでは

オートデータ用のリチウム電池は、-10℃以下の寒いところ長時間放置すると、電池性能が低下してデータ機器が正常に働かなくなることがあります。カメラを保温しながらご使用ください。

静電気・磁気にご注意

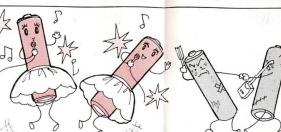
データ写し込み機構にはクオーツデジタル時計とまったく同じものが内蔵されておりますので、テレビ・磁石等、静電気、磁気を発生する器具に接触せなさいください。

電池交換の時期

もし、こんなときは…



→新しい電池を2本同時に入れ替えてください。
●フィルムを全部写し終ってください。
→フィルム終了表示ランプが点滅していることを確かめたら、巻き戻しスイッチを操作してフィルムを巻き戻してください。



①

電池の扱いは正しく……

次のような電池の扱いは、カメラ故障の原因になりますから、ぜったいにさせてください。
●電池が入っていないか、電池が消耗してしまった。

●電池の取替えはお早目に早めに新しい電池と取替えおくと安全です。カメラに同封の電池は、性能表どおりの寿命より短い場合があります。

●電池の汚れ電池の○印が汚れていたら、乾いた布によく拭きとどけてください。兩種に汗や油が付いていると接触不良の原因になります。カメラ側の接点の汚れも清掃しましょう。

カメラはたいせつに扱いましょう

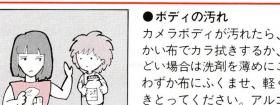
旅行に出かけの前に



カメラを使わないとき



カメラの手入れ



暑いとき
寒いとき



●もし、故障したら

万一眼鏡の具合が悪いときは、カメラ店またはサービスステーションにお持ちください。

●AEの確認

裏ふたを開き後方からレンズを見ながら暗い方に向けてシャッターボタンを押すと、シャッターボタンが大きく、明るい方に向けて押すと小さく閉じ、AEが正常に働いていることが確認できます。

●AEの確認

裏ふたを開き後方からレンズを見ながら暗い方に向けてシャッターボタンを押すと、シャッターボタンが大きく、明るい方に向けて押すと小さく閉じ、AEが正常に働いていることが確認できます。

●カメラの無料診断

コニカカメラ・サービスステーションでは、いつもよい写真を撮っていたために、コニカカメラの無料診断をお受けしております。お気軽にご相談ください。

●撮影が終ったら

かならずストライカバーを閉めてください。安全機構によって不用意にシャッターキャップをきるおそれなく、レンズや自動測距窓などを保護します。

●電池の取出

2週間に上カメラを使わないときは、カメラから電池を取出しておきましょう。

●ボディの汚れ

カメラボディが汚れたら、軟かい布でホコリ拭きするか、ひどい場合は溶剤を薄めにごくわずかにまく、軽く拭きとてください。アルコール、シンナーなど有機溶剤は絶対に使用しないでください。

●レンズや自動測距窓の汚れ

指紋等で汚れたフロアブラシでホコリを吹きとばすだけにしてください。ひどい汚れはサービスステーションにご相談を。

●熱や湿気から守る

夏の海岸直射日光下の車のなかなど、暑くて湿気の多い場所にカメラを長時間置いておくと、フィルムや電池の性能を低下させ、カメラの故障の原因になりますから、放熱しないでください。

●スキヤウ冬では

カメラを冷凍に直接当てるままでしておいて、電池性能が低下してラッシュ充電の充電時間が遅くなったり、0℃以下ではカメラは正常に動作しないことがあります。カメラを保温する方法があります。

●水にぬらしたら

湖風に当たったたり水滴がついたら、乾いた布ですぐ拭いてください。水にぬらしたら急いでサービスステーションに連絡してください。

●急速な温度変化

寒い屋外から暖房のいた室に入ると、レンズがくもることがあります。しばらく待てばもろは消えますから、カメラ内部に水滴を生じた場合は故障の原因になります。急速な温度変化はさてください。

性能表

型

式 35mmハーフサイズレンズシャッター式オートフォーカスマクロEカメラ・フラッシュ・自動巻きき巻き戻し機能

画面内蔵・クリスマスカード

感光度 ISO400(ISO100)の感度で撮影

画幅

24×18mm 35mm(135)フィルム使用

レキサム・エキサム4×5mmF4.8枚

シャッタースピード1/1000秒(1/1000秒)以上

シャッタータイプ

電子式(ピュアマグネト)式

ドライブ方式 単眼式

露出測定方式 リニア露出測定

露出範囲

EV-16~-EV1(F4-1/60)~-EV16(F4-1/120)

ISO400(ISO100)の感度まで

露出測定範囲

ISO感度

ISO100, 200, 400

DX露出補正範囲

露出補正範囲

オート露出

露出測定範囲

露出測定範囲

露出測定範囲

オート露出範囲

露出測定範囲